



JUNE

おかむら通信 194号

令和3年6月号

ご挨拶

みなさま、少しあわただしさがあって落ち着かないこのごろではないですか？ 5月10日の週に医師を含め当院の医療スタッフ全員にコロナワクチン接種されるはずだったのですが、どういうわけか、到着すべきワクチンがこない。行方不明になった??と、啞然としました。65歳以上のみなさまへのワクチン予約に大変苦勞されていてまだに予約が取れない方が多くおられるのは医療機関側として申し訳ない次第です。当院も、スタッフが大勢いるわけではないのですが、どうしてもコンピューターができないご高齢の方には、スタッフいつもの業務をしながらお手伝いをさせていただいています。これでも取れないときもあります。

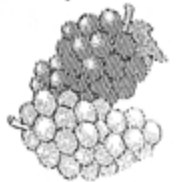
5月23日から集団接種に出動開始しています。医師1人・看護師2人、一日中です。当院でも5月18日から個別接種が始まっています。火曜午前、水曜午後、木曜午後、土曜午後で週80人のペースです。

＜今月の言葉＞ 「今だけ かねだけ 自分だけ」

そこには他人が入ってない 他人が極貧になっても知らぬ存ぜぬ 自分だけ儲かればいい、自分がしたことをごまかしても自分だけが良ければいい、しいては人の命に関心がない。一体何なんでしょう。これでは間違いなくこの国は、知らず知らずのうちに壊れてしまう。一部の人だけが優遇され、お大尽になる。本当にばからしい。

＜院長からお知らせ＞

- ①症状がないのは、病気がないことにつながらない、
- ②これからは自分で自分を守りましょう、自らから考え、本当の事を見抜きましょう。
- ③若きも老いも互いに、理解する努力をしましょう。コロナ対策委員長 尾身会長より、
- ④動脈硬化は、ほとんどみずから作ってしまっている、知らない間に。
- ⑤最近、またまた自宅で血圧を測る人が減ってきています。いかなる時間でもいい、3日に一ペンでもいい、お家での血圧で心臓と末梢血管、環境の様子がわかるのです。
- ⑥何らかの炎症や、がんの発生の瞬間 はもちろん何も感じないはずです。それから数か月、何十年で病気が完成してゆきます。そのどこで、われわれ医師が発見するかが勝負です。院長はそう思います。





⑦ どういうわけか、昔から存在するとてもいい薬がわたしのまわりから消えてしまっています。そうそれらは、微妙な効果がある、治るきっかけをつくる魔法の薬にもなりうるのです。いやらしいですね。医療費抑制を巧妙にされて。

⑧ 病気の発症に、突然はありません、症状がないときにわれわれが気を付けて見つければいいのです。

⑨ この間、国からの要請がありました。コロナ感染でPCR陽性になった方々の相談に乗ってほしい、重病になる前に、必要なら治療や診察をしてほしいと。それはいいことです。当院の院長に下さい。オンライン診療の一つです。しかしいつまでたっても連絡がありません。やっぱり、ポーズなのですね。

⑩ この間、コロナワクチン集団接種会場において、ショック状態になられたかたがおられました。アナフィラキシーショックではありません。迷走神経性ショックで、すぐ手当をして事なきを得ました。

⑪ ワクチンを打つのは、自分を守る、人を守る、国を守ります。

思う事 : オリンピックは選手と関係者だけのものでしょうか？ いや国民のみなさんのものでもあるのですよ。小学生を何万人も観光客に見立て会場に入れるのですか？ 混んだ電車に乗り、バスにのり、会場周辺でたむろし、極めて危ない三密になりませんか？ 何ですかPV（パブリックビューイング）急に何兆円もかけてすることではないでしょう。

国民の命をどう思いですか？ どんどん国内でひろがっているインド株、感染力の強いこのコロナ感染症は7月、8月がピークになります。国のいい加減な施策に医療機関ははっきり言って疲れています。開業医もです。空港で数万人もの海外の方々の出入りによりコロナ危険株流入、流失は避けられません。今何をやっても遅いです。日本国民全体に命の危険を冒し、国民を守らないことになりませんか？ どうてい愛国者とは思えませんね。

< 5月の 院長の 院内外活動 >

1/ (土) ~9/ (日) 当院レセプト業務	当院
13/ (木) 松飛台小学校内科健診 (教諭、小2、小4)	松飛台小
16/ (日) 医師会集団ワクチン接種応援 (医療関係者)	衛生会館
21/ (金) WEB講演会「胆道疾患・肝硬変の治療について」	当院
23/ (日) コロナワクチン集団接種 (高齢者) と急変患者の治療	牧の原小

梅雨の季節になり
 ジメジメとした日が多く
 なってきました。温度差が
 あるので体調に気をつけましょう。
 島津

